



# にちなん 議会だより

第35号

平成29年  
11月1日発行



## 主な内容

- ◆ 第4回定例会の開催結果 ..... 2ページ
- ◆ 「市民と語る日南市議会」 ..... 6ページ
- ◆ 12月定例会開催予定 ..... 6ページ
- ◆ 市政を問う 一般質問 ..... 7ページ
- ◆ 審議結果一覧 ..... 14ページ

■今号の表紙■ 日南・飫肥カトリック幼稚園の運動会のようす

# 第四回定例会開催

# 一般会計補正予算等を可決 ～一般会計予算総額258億3,100万円～

万円となりました。

補正内容については、飫肥地区の長期滞在型観光に向けたソフト事業について調査する事業や日南総合運動公園野球場スタンドの改修に要する経費、国の名勝に指定される見通しとなつている名勝「鶴戸」のPR等に要する経費などのほか、災害復旧に係る経費の補正を行いました。

主な事業については、次ページの委員会審査内容をご覧ください。

## 一般会計補正予算の概要

第4回定例会は9月12日から10月5日までの24日間開催され、平成29年度一般会計補正予算（第2号）をはじめとする、市長提出案件など、あわせて40件を審議しました。

審議結果につきましては、14ページの「審議結果一覧」をご覧ください。

# ■ その他の主な議案等

**平成28年度日南市健全化判断比率の報告について**

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、平成28年度決算に基づく健全化判断比率を公表するものです。

# ■専決処分の報告 報告

A simple line drawing of two children, a boy on the left and a girl on the right, both with dark hair and smiling. The boy has short, dark hair and a small bow tie. The girl has longer, dark hair tied back with a bow and a white collar.

な育成を図るための次世代育成支援対策推進法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

母子及び寡婦福祉法の題名が改正されたこと等に伴い、「日南市福祉事務所設置条例」及び、「日南市母子及び父子家庭等医療助成に関する条例」について所要の改正を行うものです。

## 日南串間広域不燃物処理組合の規約変更に関する協議について

## 総務市民委員会審査内容

### ◇包括業務委託料（債務負担行為補正） (4億8817万5千円)

現在、臨時及び嘱託職員が担当している業務のうち、民間への委託が可能な業務を対象に平成30年度から民間委託を導入する。具体的には、市に勤務する臨時及び嘱託職員を民間会社（受託者）が再雇用（転籍）し、原則從来の業務を担当するものです。

平成30年度から平成32年度までの包括業務委託について、平成29年12月までに委託業者を決定し、準備期間を経て平成30年4月より委託を開始するため、債務負担行為を設定するものです。

#### 【審査概要】

（問）民間委託の導入が検討されている窓口業務について、フロアマネージャーの役割はどういうものか。

（答）窓口での申請書記入方法の説明、案内を想定している。

「公務労働であるべき個人情報を取り扱う市民生活課窓口業務等も、包括委託業務に含まれているため、反対である。」との反対討論がありました。

#### ◇乗合タクシー運行事業

（64万1千円）

富士河内地区で実施している乗合タクシー事業において、利用者や利用回数の増加に伴う追加経費です。

## 文教厚生委員会審査内容

### ◇国名勝「鵜戸」指定記念事業 (140万円)

今秋、国の名勝に指定される見通しとなる名勝「鵜戸」の指定記念のPR等を行うための経費です。

#### 【審査概要】

（問）どのような内容なのか。

（答）ポスターを作成し県内を対象に宣伝する。鵜戸神宮は横断幕、市役所は懸垂幕を作成し宣伝する。報告会も開催する予定である。

#### ◇ハートフルセンター管理費

（2200万円）

南郷ハートフルセンターの文化会館屋上防水シート破損に伴う改修経費です。

#### ◇小学校施設整備事業

（400万円）

児童の安全確保や教育環境の整備のために、老朽化した小学校並びに中学校施設の修繕に要する費用です。

#### ◇社会福祉総務費負担金及び補助金

（360万円）

社会福祉法人つよしみのグループホーム建設に伴う補助金です。

グループホーム4棟（男子棟2棟、女子棟2棟、管理棟1棟）  
(平成30年3月完成予定)

## 産業建設委員会審査内容

### ◇企業誘致促進事業 (2892万6千円)

市の企業誘致促進条例に基づき、指定した事業所に対し、企業立地助成金等を交付する事業です。

#### 【審査概要】

（問）誘致後、企業の業務調査等は実施しているか。

（答）誘致企業としての条件である5年間については、調査等を実施している。

#### ◇日南総合運動公園野球場スタンド改修事業

（935万4千円）

老朽化の進んだ日南総合運動公園野球場のスタンドを解体し、管理棟新設のための設計及び地質調査等の経費です。

（問）野球場の管理棟は、いつ頃の完成を目指しているのか。

（答）議会の承認が得られれば来年度の予算に組み込み、広島東洋カープ春季キャンプ前の平成31年1月の完成を目指している。

#### ◇県営農業農村整備調査計画事業(260万円)

高齢化や担い手不足により管理が困難な上津留地区の農地を、効率的な営農活動を行える基盤整備を図ることが可能か、またその有効性と地元との合意形成について、調査・計画を行う事業です。

（問）この事業計画の策定後、整備事業の実施はいつ頃と考えるか。

## 平成28年度決算審査の概要

認定第1号「平成28年度日南市一般会計歳入歳出決算の認定について」など15件を、議長及び議会選出監査委員を除く議員で構成する決算審査特別委員会において、10月2日から4日の3日間で審査を行いました。

一般会計決算については、歳入総額から歳出総額を差し引いた額が9億195千円を差し引いた7億7907万8千円が、実質収支の黒字となります。採決の結果、平成28年度の各種会計決算を認定しました。

### 会計別決算の状況

#### ●一般会計

区分	歳入	歳出	差引	繰越財源	実質収支
一般会計	29,668,968	28,749,315	919,653	140,575	779,078

#### ●特別会計

区分	歳入	歳出	差引
国民健康保険	9,429,978	8,938,845	491,133
後期高齢者医療	862,232	853,607	8,625
介護保険	6,253,589	6,169,000	84,589
簡易水道	200,211	193,162	7,049
農業集落排水	21,680	19,567	2,113
漁業集落排水	24,704	22,842	1,862
公設合併処理浄化槽	140,551	134,888	5,663
計	16,932,945	16,331,911	601,034

#### ●企業会計

区分	収入	支出	差引
病院事業	収益的収支	1,288,327	1,286,775
	資本的収支	164,280	306,803
公共下水道事業	収益的収支	987,551	964,190
	資本的収支	734,089	1,023,377
特定環境保全公共下水道事業	収益的収支	148,652	143,869
	資本的収支	47,536	81,254
水道事業	収益的収支	984,024	911,212
	資本的収支	396,482	937,890

※病院事業会計、公共下水道事業会計、特定環境保全公共下水道事業会計および水道事業会計の資本的収支の不足額は、損益勘定留保資金などでの補てんがされており、現金収支における損失はありません。

## 第1分科会（総務市民部門）

### ○市民生活課

（問）交通安全対策である「免許自主返納メリット制度」の利用者数を伺う。

（答）平成28年度は、188人の利用があった。そのうちの約80%がタクシーコードの利用である。

（問）マイナンバーカードの申請率と取組を伺う。

（答）申請率は13・59%となつている。取り組みとしては県内3番目となる、全国のコンビニで戸籍証明書等が取得できるサービスを開始した。

（問）地域振興課

（問）移住相談件数及び移住者数の実績を伺う。

（答）平成28年度は288件の相談があり、39世帯100名が本市に移住された。また、「日南市住者の会」において会員同士の意見交換や交流を促し全国への情報発信などの活動に取り組んだ。

（問）総務課

（答）平成28年度のふるさと応援寄附金の状況を伺う。

（答）地方を応援するという「ふるさと納税制度」の趣旨の浸透や

税が優遇されるという事もあり、1万97336件で3億688万5千円の寄附を受けた。返礼品としては、特産品等を発送している。

### ○美化推進課

（問）し尿処理施設整備事業ではどの様な施設を目指しているのか。

（答）老朽化が進んでいる既存施設を利用しながら、国の交付金を活用し、平成29年度～31年度の3か年で、資源化が可能な汚泥再生処理センターとしてリニューアルするものである。

（問）南郷町総合支所

（問）市営旅客船「あけぼの3」の運行状況はどうか。

（答）定期便運航時間外に30分・45分・60分の周遊コースを開設し、大島周辺の自然を発信している。

### ○消防本部

（問）救急活動の状況について伺う。

（答）出動件数は2362件で昨年より136件の増であった。救急命率の向上を図るために、住民に対する応急手当の普及活動も実施した。18回の普通救命講習を行い、受講者数は141名であった。

## 第2分科会（文教厚生部門）

### ○北郷町総合支所

（問）健康増進事業について、各教室の参加人数はどうなつていてるか。

（答）年間延人數は、いきいき健康増進教室が延べ2968名、らくらくウォーキング教室が延べ1553名である。

### ○健康増進課

（問）地域の健康づくり推進員の状況はどうなつていてるか。

（答）健康づくり推進員は自治会長より198名を推薦いただいている。健康づくり研修会への参加や各種検診への啓発活動をしてもらいい、検診受診率も少しづつ上がつていてる。

### ○長寿課

（問）地域介護・福祉空間整備等施設整備事業について、昭寿園サンヒルズへ導入された介護ロボット1台の種類と事後調査はどうしているのか。

（答）介護従事者の負担軽減のための介護ロボットであり、国庫補助のため3年間の報告が義務になつていてる。

### ○農村整備課

（問）農業農村施設管理事業について、その委託先はどこか。

（答）北郷地区はシルバー人材センター、南郷地区は自治会である。

### ○水道課

（問）水道事業の業務・経営分析の中で、有収率はどうか。

（答）本市の有収率は約86%であり、県内他市の平均とほぼ同率である。

### ○商工政策課

（問）雇用創出プロジェクト会議はどのようなメンバーか。

（答）農協、漁協、森林組合、商工会議所、宮崎大学などの方々である。

### ○下水道課

（問）管理棟などの施設の状態はどうか。

（答）耐震診断の結果、基準に達していない。

### ○観光・スポーツ課

（問）クルーズ船受入の経費はいくらか。

（答）一回あたり100万円以内である。

## 第3分科会（産業建設部門）

中で、未資格の生活保護担当職員の研修はどうしているのか。

（答）社会福祉主事研修により資格を取得している。加えて、月1回保護係で学習会を開催している。

### ○水産林政課

（問）日南かつお・まぐろ祭りの様子はどうであつたか。

（答）約8000人の来場があり、たいへん盛況であった。

### ○北郷町総合支所

（問）会議出席負担金の内訳はどうなつていてるか。

（答）森林セラピー・バルネオ（温泉）セラピー資格取得のための計21名分の受講料などである。

### ○南郷町総合支所

（問）ブランド化された「美々鯈」の取組はどうか。

（答）南郷地区内の4店舗で定食などを提供しており、約1600食の実績である。

### ○建設住宅課

（問）市営住宅長寿命化事業の今後の予定はどうか。

（答）松原第8アパートの改修工事を予定している。

### ○保健年金課

（問）平成28年度の日南市の医療費が前年の県内2位から6位になり、減少している要因は何か。

（答）他自治体の医療費増と薬価が下がつたことである。加えて、保健師の訪問活動の効果が出ていると思われる。

### ○学校教育課

（問）学校給食事業について、地産地消など更なる学校給食の充実はどうしているのか。

（答）みかん、カツオ、マグロ、キユウなどの地産地消を年6回実施している。

### ○農業委員会事務局

（問）農地相談員の主な業務は何か。

（答）相談を受けた現地の調査や、申請業務の代行なども行う。

### ○建築住宅課

（問）市営住宅長寿命化事業の今後の予定はどうか。

（答）松原第8アパートの改修工事

# 「市民と語る日南市議会」を開催します!



今年度も「市民の声を市政に反映させること」を目的に、市民の皆様との意見交換を主とした議会報告会『市民と語る日南市議会』を下記のとおり開催いたします。

全市民の方を対象としてありますので、いずれの会場でも参加できます。

議員が班別に分かれて、議会報告を行うとともに、「新庁舎建設」に関する意見交換を行う予定にしておりますので、皆様方のご意見をお聞かせください。

会 場	日 時	場 所	出 席 議 員
北 郷	11月7日(火) 午後6時30分～	北郷ふれあい 交流センター	濱中 武紀・福岡 浩一 岩永 憲明・林 一彦 川越 昇・小玉 弘明 郡司 誠秀
南 郷	11月8日(水) 午後6時30分～	南郷ハートフルセンター 生涯学習館2階 大研修室	中尾 貞美・和足 恭輔 山本 定則・山田 一 黒部 俊泰・谷口 慎二 岩元 猛
日 南	11月10日(金) 午後7時～	ふれあい健やかセンター 5階議場	田中 重信・井福 秀子 前田 幸雄・川口 和也 北川浩一郎・杉尾麻起子 河野 通博

※報告会は、1時間30分から2時間程度を予定しています。

## 是非、議会を傍聴してみてください!

### ■ 平成29年第5回(12月)定例会 開催予定 ■

- 11月29日 開会、本会議
- 30日 本会議
- 12月 8 日 本会議(一般質問)
- 11日 本会議(一般質問)
- 12日 本会議(一般質問)
- 13日 委員会審査
- 14日 委員会審査
- 15日 委員会審査
- 18日 本会議(採決)、閉会



※日程はあくまで予定であり、議事の都合により変更となる場合があります。

## ★インターネットでも議会がご覧いただけます!

本会議のようすは、下記のURLより生中継・録画放映でご覧いただけます。  
(スマートフォン・タブレット端末でもご覧いただけます。)  
<http://www.nichinan-city.stream.jfit.co.jp/>



# 市政を 問う!

# 一般質問

平成29年第4回定例会における「市政に対する一般質問」は、9月21日、22日、25日の3日間行われ、12人が個人質問に立ち、多岐の内容にわたり市の方針をただしました。

質問の方法は「①一括方式」、「②一部壇上方式」より、議員が選択して実施しました。

① 一括方式とは … 議員が一括して壇上で質問し、市長が壇上で一括して答弁した後、再質問を質問席で行う方式です。

② 一部壇上方式とは … 議員が質問の一部を壇上で質問し、市長が壇上で答弁した後、議員が質問席から一問一答でやり取りする方式です。

## 以下、登壇順に質問と答弁の要旨を掲載しています。

※ 質問や答弁について、要旨だけではなく詳細をお知りになりたい方は、日南市議会事務局にて「日南市議会会議録」を閲覧することができます。

また、日南市議会会議録は「日南市議会ホームページ」でも閲覧することができます。

詳しくは、日南市議会事務局（電話：0987-31-1142）までお尋ねください。

### 〈登壇者と質問項目〉

- ① 井福 秀子 議員（一部壇上）〔子どもの貧困対策について、日南駅のトイレについて、下水終末処理場からの悪臭について、カーブミラーの設置について〕
- ② 和足 恭輔 議員（一部壇上）〔生活困窮者にかかる行政について、行政組織の見直しによる包括的業務委託の導入について、交通弱者対策について〕
- ③ 林 一彦 議員（一部壇上）〔高レベル放射性廃棄物の最終処分の可否判断について、被爆者の健康問題について、本市の防災対策について、最近の中高生の自殺報道について、副市長について、公契約条例について〕
- ④ 川口 和也 議員（一部壇上）〔包括民間委託について、教育に関わる諸問題について、中山間地支援について、認知症対策について、改正農業補償法について〕
- ⑤ 小玉 弘明 議員（一部壇上）〔市長の政治姿勢について、介護事業について、学校教育について、観光振興について、地籍調査について〕
- ⑥ 田中 重信 議員（一部壇上）〔コミバスの運用について、学校給食費について、職員の定員管理について、土地開発公社について、補助金交付団体の監査および事業評価について、庁舎建設について〕
- ⑦ 川越 昇 議員（一部壇上）〔市長の選挙公約について、危機管理について、地域資源である天然温泉について〕
- ⑧ 杉尾麻起子 議員（一部壇上）〔農業について、土石流防止の林業について、国道220号の防災トンネルについて、国保の今後について〕
- ⑨ 山田 一 議員（一部壇上）〔道路等の整備について、観光行政について、地域振興について、商工政策について〕
- ⑩ 河野 通博 議員（一部壇上）〔地域振興について、教育行政について〕
- ⑪ 北川浩一郎 議員（一部壇上）〔子育て支援について、観光政策について〕
- ⑫ 黒部 俊泰 議員（一部壇上）〔「誰も置き去りにしない」SDGsの推進について、子ども・若者の自殺対策について〕

日本共産党日南市議団  
井福 秀子 議員

## 子供の貧困について

(問) 格差や貧困の連鎖が社会問題化する中、国では子どもの貧困対策推進法が施行された。子どもの将来が生まれた環境によって左右されないよう、また、貧困が世代を越えて連鎖しないよう、必要な環境整備と教育の機会均等を図るための子どもの貧困対策に関する大綱も閣議決定されている。それを受け、本市でも6691人からアンケートをとり、「子ども未来応援プラン」が策定された。市内と課題が明らかになつたが、支援の内容はどういうものか。

(答) 子育て世帯包括支援センターを設置し、要保護児童対策地域協議会など体制も整備した。最も重要なことは市全体で貧困対策に取り組む機運を盛り上げることであり、11月には子どもの未来応援シンポジウムを開催する。

(問) 子どもの貧困対策事業で最も重要な役割を果たすのは学校現場であるとしているが、教職員の多忙化の中で役割が果たせるか。

(答) 学校では常日頃よりアンテナを高くして困り感のある児童生徒・家庭を把握し、組織として適切な対応をすることが重要である。

## 日南駅のトイレについて

(問) 市内の駅トイレは最近、洋式トイレに改修されてきれいになつているが、日南駅だけは以前のままである。高齢者や障がい者にも利用しやすい洋式トイレにできなかいか。

(答) 北郷、飫肥、油津、及び南郷駅は市所有のトイレであり適宜、適切な管理を行つてある。日南駅所有者JR九州に修繕や改修を要望したが予算面で対応が難しいこと。しかし、本市の玄関口でもあることから、引き続き改修の要望を行う。

## カーブミラーの設置について

(問) 水道庁舎付近の水路沿いの市道にカーブミラーの設置要望が出されている。駐車場に大型車があると見通しが悪く、いつか事故が起ころのではないかと不安である。早期に設置できないか。

(答) 要望の交差点は、一時停止の交通規制や減速を促す施策がある。はみだし駐車道路交通法違反として警察と連携して対処する。

(答) 学校では常日頃よりアンテナを立ち上げて2年になる。自立相談支援事業の実績を問う。

(答) 平成27年度の新規相談者140人、延べ相談件数930件、28年度が新規相談者74人、延べ相談件数797人となつておらず、就労支援の相談者数は27年度34人、28年度27人であつた。

## 生活保護行政について

(問) ホームページの生活保護案内は市民が安心して窓口に相談できる内容になつてあるか。

(答) 制度を簡潔に説明し、手続き等の詳細な記載はない。他市を参考にわかりやすいものにしていく。

(問) 生活保護利用は憲法上の権利であることを明記し、「生活にお困りの方はご相談ください」と困窮者に寄り添う内容にすべき。

(答) 他市を参考にわかりやすいものにしていく。

(問) 本市の生活保護のしおりのタイトルは「生活保護を受けている方のために」となつてある。保護の利用を考え悩んでいる生活困窮者のためのしおりはあるのか。

(答) 新規相談者に対して、「生活保護のしおり」をつかつて説明しているので、表紙を改める。

(問) 小田原市のしおりを参考にしおりを作り変えるべき。

(答) 改善については検討する。

## 生活困窮者自立支援制度の事業実績について

(問) 事業委託先の社会福祉協議会

(答) 平成27年度の新規相談者140人、延べ相談件数930件、28年度が新規相談者74人、延べ相談件数797人となつておらず、就労支援の相談者数は27年度34人、28年度27人であつた。

(答) 相談者の抱える問題の把握と早期解決に努めてきた。相談内容により、早期解決に至らない現状があるが、この相談窓口は生活困窮者の救いの場であり、事業の持つ意味は大きい。相談者の目線に立ち問題解決に取り組んでいく。

(問) 自立支援事業の取組の評価と課題、今後の取組を問う。

(答) 相談者の抱える問題の把握と早期解決に努めてきた。相談内容により、早期解決に至らない現状があるが、この相談窓口は生活困窮者の救いの場であり、事業の持つ意味は大きい。相談者の目線に立ち問題解決に取り組んでいく。



生活困窮者に寄り添う内容に改定された小田原市の「保護のしおり」



社民クラブ  
林 一彦 議員

## 高レベル放射性廃棄物の最終処分の可否判断について

(問) 政府は原発の高レベル放射性廃棄物最終処分の「科学的特性マップ」を公表したが、本市もその区域に入っている。それを見てどう考へているのか、市長の見解を問う。

(答) 7月28日に科学的特性マップは公表され、今後はこの地図をもとに国が各地の自治体や住民に説明するなど候補地を探していくことになると思う。

(問) 旧南郷町の核廃棄物の持ち込み及び原子力関連施設の立地拒否についての条例は現在どうなっているのか。

(答) 平成17年3月に旧南郷町において議員提出案として条例制定されたものであり、平成21年3月の1市2町合併により旧南郷町の条例は効力を失ったため当該条例はない。

(問) 日南での条例化の意思はないのか。

(答) 条例化については現在のことろ考へていらない。

(問) なぜ、条例化しないのか。

(答) 過去に旧南郷町が核廃棄物等の持ち込み及び原子力関連施設の立地拒否についての条例化がされた経緯から本市が候補地となることは考え難い。今回示されたマップは特定のエリアを選定したものではなく、全国広範にまたがるもので、候補地選定の現実的な動きが何もない現状において条例を制定してまで拒むことは考えていない。

## 副市長について

(問) 副市長を2人体制とした動機を問う。

(答) 国とのパイプ役が必要だと感じた。そのため副市長を2名体制にし、特命副市長を国から派遣してもらうこととした。

(問) 6月議会で特命副市長を中心とした地域産業イノベーション事業を行うとあつたが、その時点で副市長はいなくなるとわかつていたのではないか、今後の事業の中心を誰が担うのか。

(答) 副市長1人制に変更後は新設する産業経済部長を中心に進めていくことを予定しており、その事務を担当することになる商工マーケティング課マーケティング推進係を1名増員することにする。



社民クラブ  
川口 和也 議員

## 農業災害補償制度の改正について

(問) 先の通常国会で改正農業災害補償法が成立し、「収入保険制度」が創設されたが、その仕組みと内容はどのようなものか。

(答) 現行は、自然災害の収量減少が対象であり、価格低下等は対象外である。また、対象品目が限定的で、農業経営全体をカバーできていない等の課題がある。

(問) 副市長を改正し、品目の枠にとらわれずに、農業経営者の収入全体を見て、総合的に対応できる新たな保険制度が作られた。具体的な内容は、過去5年間の平均収入を基本に、営農計画等も考慮し、基準収入の8割台を補てん金として支払われる仕組みとなり、2年後の平成31年産からが対象となる。

## 中山間地支援について

(問) 中山間地への人的支援は置き去りにされている。北郷や酒谷、細田等の中山間地域に、生活環境支援や過疎対策等の施策構築のため、油津の木藤氏や飫肥の徳永氏のような専任の人的配置はできないか。

(答) 専任職員や民間人登用によるこれまでの事業の進捗等を確認しながら、各地域への更なる効果的な取組について、研究していく。

## これまでの事業の進捗等を確認しながら、各地域への更なる効果的な取組について、研究していく。



寂しくなる酒谷地区、28年4月酒谷中学校が廃校となり、30年4月から休館となる酒谷児童館。



無会派  
小玉 弘明 議員

### 市長の政治姿勢について

(問) 2期目の最重要施策は何か。

(答) いずれの5公約も重要であるが、特に「地元産業の活性化」には違った視点で取り組んで行く。

(問) 副市長一人制と部長制導入の組織見直しのあり方について。

(答) 各課にまたがる案件が非常に多く、いかに分野横断的に進めて行くかが、カギになる。管理職の数を一名減らす事で1700万円の人員費削減に繋げていける。

(問) 2026宮崎国体について。

(答) 本市での開催意向の種目はバーボール・レスリング・セーリング・軟式野球・高等学校野球の5種目ある。10月末に開催される「第81回国民体育大会宮崎県準備委員会設立総会」で正式な競技種目や開催地が決定される。

### 介護事業について

(問) 県内における本市の介護保険料の現状について。

(答) 県内9市の月額基準額の最高はえびの市の6502円、最も低いのは串間市の4950円で、日南市は5305円で7番目である。

### 学校教育について

(問) 部活動の週一回及び月一回の休養日の導入のあり方について。

(答) 一、教職員の長時間労働。  
一、生徒の疲労とけがの増加。

(答) 一、保護者の負担増加。  
といつたものが喫緊の課題と捉え、本取組みと至った。

しかしながら、先生方は部活動指導を生徒との必要なコミュニケーションの場であるとし、生徒の中には技術を磨いて更に上級学校で自らを鍛えたいと考えている事は十分承知している。今回の休養日設定は柔軟に対応できるように示し、練習時間は確保し先生方や生徒の意欲を削がない配慮をしている。

特に、個人的な自主練習までを、規制するものではないので誤解の無いようにして頂きたい。

### 観光振興について

(問) クルーズ船による問題点は。

(答) 平成27年度から本年9月6日までで、クルーズ船の来航回数は外國・国内の合計48回で18万人。言葉や文化の違いやマナー等のトラブルが多かった。100台を超すツアーバスの移動時の渋滞や滞在場所等の問題点があつた。



改政クラブ  
田中 重信 議員

### コミバスの運用について

(問) 実情に応じた地域別運行形態の見直しが必要ではないか。

(答) 乗り合いタクシーとコミバスの有効な組み合わせや、実情に応じた公共交通機関網の計画を策定中だ。

### 学校給食費について

(問) 給食費の行政直接徴収についての対応を問う。

(答) 教員の労働環境改善の一環として文部科学省が業務の調査研究を行つており、学校給食費の公会計化については今後検討する。

### 市職員の定員管理について

(問) 現状の類似都市比較については、区分が広すぎて参考とならない。

条件のより近い、新たな類似都市モデルによる定員管理とするべきではないか。

(答) まずは、九州内の同規模自治体について比較研究したい。

(答) 包括業務委託による定員減など費用対効果をどう見るか。

### 土地開発公社について

(問) 塩漬けの評価損はないか。

(答) 一部に評価損があり、対策を検討中である。

### 補助金交付団体監査について

(問) 監査指摘事項について適切に処理されているか。

(答) 交付団体の下部組織への再交付や、決算額を上回る過大な繰越金などの指摘を行い、改善の報告を受けた。

### 新庁舎建設について

(問) 資産更新にともない次世代負担となる実質公債費負担率や、企業会計負担金など財政シミュレーションは適切に行われているか。

(答) 現時点で将来予想数値は出ていない。



築60年を経過し、取り壊し予定の新庁舎と議会棟。